

【さぬき市】 校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果、授業研究会や校外研修などは、コロナ禍における取組みとしてオンライン化が積極的に行われたこともあり、クラウドツールの活用が浸透しつつある。その一方で、職員会議や職員への周知、保護者との連絡手段等のデジタル化は進んでおらず、クラウドツールの積極的な活用による負担軽減とコミュニケーションの活性化が課題である。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

まずは、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因となっている、FAX でのやり取り・押印の見直しを進める。

また、不合理な手入力作業等については、情報通信技術支援員を通じて業務改善に繋がるツールを提案するなど、教職員の負担軽減を図っていく。

3. 次世代校務 DX 環境の整備について

令和 5 年 3 月に文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での校務 DX につて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上で各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務 DX の在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、県及び県内他市町教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。